

# 第4次国有林野施業実施計画書

本計画は、国有林野管理経営規程（平成11年農林水産省訓令第2号）に基づいて、「国有林の地域別の森林計画」（森林法第7条の2の規定に基づいて作成するもの）及び「地域管理経営計画」（国有林野の管理経営に関する法律第6条第1項の規定に基づいて作成するもの）に即して定めるものです。

## 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域	1
2	施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、 上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法 及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源かん養タイプにおける施業群別の名称及び面積等	1
(3)	水源かん養タイプにおける施業群別の上限伐採面積	1
(4)	生産群別の名称及び面積等	1
(5)	標準伐採量	1
(6)	伐採総量	2
(7)	更新総量	2
(8)	保育総量	3
3	林道の整備に関する事項	3
4	治山に関する事項	3
5	保護林の名称及び区域	3
6	レクリエーションの森の名称及び区域	4
7	その他必要な事項	6
(1)	施業指標林、試験地等	6
(2)	フィールドの提供及び文化財保全への貢献	7
(3)	国土保全タイプの区分別面積	7
(4)	文化財等の現況	7
(5)	その他	8

## 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の具体的な配置は、別添1「国有林野施業実施計画図」のとおりとします。(管理経営計画の1の(1)及び(2))

## 2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

### (1) 伐採造林計画簿

地域管理経営計画に定める伐採及び更新について、箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新方法及び更新量は、別添2「伐採造林計画簿」に示すとおりとします。

(地域管理経営計画の1の(4)のイの(ア)及び(イ))

### (2) 水源かん養タイプにおける施業群別の名称及び面積等

該当ありません。

### (3) 水源かん養タイプにおける施業群別の上限伐採面積

該当ありません。

### (4) 生産群別の名称及び面積等

資源の循環利用林については、生産群に分けて具体的な施業方法を定めています。生産群別の詳細は次のとおりです。(地域管理経営計画の1の(2)のウ)

(単位：ha)

生産群	面積	生産目標等	伐期齢
スギ・ヒノキ 人工林中径材	3.93	スギ・ヒノキ一般建築材 20～28cm	契約による
合計	3.93		

- 注： 1 面積は林地面積です。  
2 生産目標等欄の数値は、生産目標とする胸高直径です。  
3 本計画区の資源の循環利用林は全て分収林のため契約に基づいて行います。

### (5) 標準伐採量

国有林野管理経営規程第5条第2項第4号に基づいて定める資源の循環利用林における標準伐採量については、本森林計画区の資源の循環利用林の全てが契約に基づく分収林のため定めません。

## (6) 伐採総量

機能類型等別の伐採量は次のとおりです。(地域管理経営計画の1の(4)のイの(7))

なお、本表は伐採造林計画簿で定める箇所ごとの伐採量を取りまとめたものです。

(単位：m<sup>3</sup>、ha)

区 分		林 地					林地 以外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
森 林 の と 共 生 と 林	森林空間利用タイプ	429	(255.26) 24,230	24,659	2,000	26,659	—	26,659
	計	429	(255.26) 24,230	24,659				
資 源 の 利 循 用 環 林	スギ・ヒノキ 人工林中径材	542	—	542	—	542	—	542
	計	—	—	—				
合 計		971	(255.26) 24,230	25,201	2,000	27,201	—	27,201
年 平 均		194	(51.05) 4,846	5,040	400	5,440		5,440

注：「間伐」欄の（ ）は間伐面積です。

## (7) 更新総量

機能類型等別の更新量は次のとおりです。(地域管理経営計画の1の(4)のイの(1))

なお、本表は伐採造林計画簿で定める更新箇所ごとの更新量を取りまとめたものです。

(単位：ha)

区 分	人工造林			天然更新				合 計
	単層林 造 成	複層林 造 成	計	天然下種 第1類	天然下種 第2類	ぼう芽	計	
森林と人との共生林 森林空間利用タイプ	1.85	1.20	3.05	2.00	—	—	2.00	5.05
資源の循環利用林	1.58	—	1.58	—	—	—	—	1.58
合 計	3.43	1.20	4.63	2.00	—	—	2.00	6.63

## (8) 保育総量

機能類型等別の保育量は次のとおりです。(地域管理経営計画の1の(4)のイの(ウ))

(単位：ha)

区 分		保 育		
		下 刈	除 伐	枝 打
森林と人との共生林	森林空間利用タイプ	7.92	2.31	—
資源の循環利用林		4.74	—	—
合 計		12.66	2.31	—

## 3 林道の整備に関する事項

林道の開設及び改良の路線別の詳細は次のとおりです。

(地域管理経営計画の1の(4)のイの(エ))

(単位：m)

基 幹 管理別	開 設 改良別	路 線 名	箇 所 (国有林・林班)	延 長	機 能 類 型 タ イ プ 別	備 考
管 理  計	改 良	天上谷林道	箕 面 275～281	1,975	森林と人との共生林 (森林空間利用タイプ)	
		箕面林道	箕 面 268～274	1,434	森林と人との共生林 (森林空間利用タイプ)	
				3,409		

## 4 治山に関する事項

治山に関する事項として次のとおり計画します。(管理経営計画の1の(5))

(単位：保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置 (国有林・林班)	区 分	工 種	計 画 量	備 考
紀泉高原 802	保 全 施 設	溪 間 工	1	
箕 面 281		山 腹 工	1	
計			2	
紀泉高原 801、807、810 811	保 安 林 の 整 備	本 数 調 整 伐	21.22	
計			21.22	

## 5 保護林の名称及び区域

該当ありません。

## 6 レクリエーションの森の名称及び区域

レクリエーションの森の箇所別の詳細は次のとおりです。

(地域管理経営計画の4の(1)のイ)

(単位：ha)

種類	名称	既設 新設	面積	位置 (国有林・林小班)	選定理由	備考				
自然休養林	明治の森箕面自然休養林	既設	1.94	箕面 273 よ、た	明治の森箕面国定公園の大半を占めており、東海自然歩道、遊歩道、園地等が整備され、ハイキング、自然観察・散策等に利用されています。	育成単層林施業 保健機能森林				
			185.72	箕面 267 い1 268 ろ～ぬ2、か～ら お1、お2 269 る1、る2、か～よ2 273 い～に2、ち～か 274 は、り、ぬ1、る1 わ1～よ2、そ～ら 275 つ～な 277 い、は～り 278 へ1～ち、ぬ1～る			育成複層林施業 保健機能森林			
			5.16	箕面 268 い、わ1、わ2 273 ほ 274 ぬ2、る2、た 277 ろ1				天然生林施業 保健機能森林		
			0.34	箕面 277 イ					林地以外 保健機能森林	
			3.27	箕面 268 ハ1 273 ハ 274 ロ1						林地以外
		計	196.43							
		風景ゾーン	既設	68.48		箕面 271 い、ろ 272 い2、い3、い5 に～か3 275 い～は、き 276 ろ、は、た 278 ろ、り 279 ろ、に～ち、ぬ、る 281 い、は、ほ、へ、ち り、る、か				
				102.07		箕面 269 ぬ 270 つ、う 271 は、る、よ 272 ろ1、は 275 に 276 い、に 277 ろ2 278 い、は～ほ 279 い、は、り1～り3		天然生林施業		

種類	名称		既設 新設	面積	位置 (国有林・林小班)	選定理由	備考
自然休養林	明治の森箕面自然休養林	風景ゾーン	既設		箕面 279 わ1～か 281 ろ1、ろ2、に、と わ		天然生林施業
				0.53	箕面 281 ロ～ニ		林地以外
		計	171.08				
		風致探勝ゾーン	既設	168.19	箕面 267 い2～ほ 268 る、む、う、の 269 い～り、わ、た～そ 270 い～そ、ね～ら2 271 ほ～ぬ、わ 272 い1、い4 273 ろ2、と 274 い、に～ち、れ 275 ほ1～ぬ、か～た2 そ、ら～や、け、ふ え～さ、ゆ、め、し 276 へ、と、り～る、よ		育成複層林施業 保健機能森林
				0.91	箕面 271 か		育成複層林施業
			31.46	箕面 270 む 272 ろ2 273 へ 274 ろ 275 る、わ、れ1～れ3 ま、こ、み 276 ほ、ち、わ、か 281 ぬ	天然生林施業 保健機能森林		
		3.65	箕面 268 ロ、 270 ハ1、ハ2、ホ 274 ニ 276 イ1、イ2	林地以外 保健機能森林			
		10.24	箕面 267 イ 268 イ、ハ2、ホ 269 イ、ロ 270 ロ、ニ 272 イ、ロ 273 ニ 274 ロ2、ハ、 281 イ、ホ、へ	林地以外			
	計	214.45					
	計		581.96		保健機能森林 396.46		



種類	名称	既設 新設	面積	位置 (国有林・林小班)	選定理由	備考
自然休養林	紀泉高原自然休養林	既設	44.87	紀泉高原 801 は～へ、ち～ぬ2 802 ろ～と 807 い～ろ2、に、ほと～り	海岸部に近い丘陵状の山型のため眺望に優れ、地利的条件も良く大阪方面からの入り込みも容易であり、登山やハイキングなど多くの人に利用されています。	育成複層林施業
			104.44	紀泉高原 801 い、ろ、と、る 802 い、ち 807 は1、は2、へ		天然生林施業
		計	149.31			
	風景ゾーン	既設	66.31	紀泉高原 806 い、ろ 810 は、ほ～と 811 い、ろ、に1、に2へ、と、り		育成複層林施業
			80.03	紀泉高原 806 は 810 い、ろ、に、ち 811 は、ほ、		天然生林施業
		計	146.34			
計		295.65				

## 7 その他必要な事項

### (1) 施業指標林、試験地等

施業指標林、試験地等として設定している箇所は次のとおりです。

(単位：ha)

種類	名称	設定年	面積	位置(国有林・林小班)	備考
展示林	明治100年記念造林地	昭和43	7.52	箕面 268た1、た2	スギ・ヒノキ
			7.12	箕面 270は1、は2、よ1 よ2、よ3、た、 そ	スギ・ヒノキ
遺伝子 保存林	後継林分	昭和44	2.80	箕面 268れ1、れ2	ヒノキ
	現地保存林	昭和40	1.30	箕面 281ろ2	アカマツ 採取源から変更

## (2) フィールドの提供及び文化財保全への貢献

前計画までにフィールドの提供や文化財保全への貢献を目的として設定している対象地は次のとおりです。

対象地（国有林・林小班）	設定の目的	備考
箕面 273 ろ1、ぬ、よ	ふれあいの森	設定面積 16.71ha
箕面 270 よ1、よ2、は1、は2 ら1、ら2、か、た ロ、ハ1、ハ2、ニ 273 ろ1、ぬ、よ	遊々の森 「遊々の森 きらきら」	平成17年7月設定 28.16ha 箕面市教育委員会 森林散策、植物観察、ネイチャーゲーム、林業体験活動等を実施
楊梅山 47 に 箕面 275 り	文化財継承林	樹種：クスノキ 0.63ha 樹種：ケヤキ 0.82ha

新たにフィールドの提供を目的として設定している対象地は次のとおりです。

対象地（国有林・林小班）	設定の目的	備考
箕面 270 は1、は2、ほ、 わ～よ2、た～そ ら1～む、ロ～ニ	ふれあいの森	設定面積 24.68ha
楊梅山 46 い～と		設定面積 38.02ha

## (3) 国土保全タイプの区分別面積

該当ありません。

## (4) 文化財等の現況

該当ありません。

(5) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法は次のとおりです。

(単位：ha)

位 置 (国有林・林小班)	面 積	施 業 方 法
本山寺山 44 ろ～は2、 45 い1～に3 楊梅山 47 い～に、へ～ち 安満山 48 い、は、ほ	85.54	育成複層林施業
本山寺山 44 い、に 楊梅山 47 ほ 安満山 48 ろ、に、へ、と	20.47	天然生林施業
楊梅山 46 イ 47 イ 箕面 267 ロ1、ロ2 268 ニ1～ニ5 270 イ1、イ2 273 イ、ロ 274 イ1、イ2 278 イ 紀泉高原 801 イ～ニ 802 イ、ロ 810 イ～ハ 811 イ、ロ	11.63	林地以外

注：その他森林空間利用タイプに設定している、ふれあいの森、施業指標林、試験地等を除きます。